

# 親子聖書日課

[日]救いを求めた犯罪人に、主は「私と一緒に樂園にいる」と約束されました。それも「今日」です。罪を悔い改めるなら、主に赦されるだけではなく、今日から天国へ導かれます。今からでも遅くはありません。悔い改めて、主を信じましょう。

[月]女性達は、信仰深いですね。主が十字架につけられ、葬られた時、離れないで主を慕いました。それは自分が弱者であることを悟って、主に信頼したからです。信仰には強がりではなく、弱さが必要です。弱い所にこそ、主の力は現れます。

[火]聖書を読んでも「心が燃えない」のは、「主は生きておられる」ことを、心から信じないからです。弟子達のように「暗い顔」で話す人はいませんか。復活の主が今日も共に生きておられることを信じるなら、心は燃え、絶望が希望に変わります。

[水]主のことを話している所に、主はご自分を現されました。ですから、恐れなくて主の素晴らしさを語りましょう。復活の主は、あなたの口と共におられます。主の証人となって、十字架の赦しを語りましょう。救われる人が起こされるでしょう。

[木]ヨハネの福音書が書かれた目的は、主を信じ、永遠の命を得るためです。「言」は主のことです。「言は肉となって」とは、神が人となられたクリスマスの出来事です。私達の人生を救いへと導く大いなる光は主です。主イエスこそ命です。

[金]昔、民はエジプトで小羊を屠り、その血を戸口に塗り、神の裁きの使者に過越してもらい、救われました。小羊とは、罪のいけにえのことです。主は「神の小羊」です。主の十字架の血潮によって、私達の罪が取り除かれたことを感謝しましょう。

[土]アンデレはペトロを、フィリポはナタナエルを主の下へ連れていきました。それも一言かけただけでした。人を主の下へ導くためには、沢山の言葉は入りません。ただ救いの喜びをもって、「来て見てよ」と誘えば、信じる人が起こされるでしょう。



NO.1956 2026.3/22-28 名前

	聖書	問題	答え
日	ルカ 23:26-43	あなたは今日、私と一緒にどこにいますか。	
月	23:44-24:12	家に帰って、香料と香油を準備したのは、誰ですか。	
火	24:13-35	聖書を説明して下さった時、私たちの心はどうなりましたか。	
水	24:36-53	あなたがたはこれらのことの何になりますか。	
木	ヨハネ 1:1-18	光は暗闇の中でどうなりましたか。	
金	1:19-34	見よ、世の罪を取り除く何ですか。	
土	1:35-51	フィリポは疑うナタナエルに何と言って誘いましたか。	
感想と祈りの課題			